



# 朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校

令和 8年 3月26日 (木)

修了式号 児童数 412名

TEL: 048-466-4481

<http://www.asakada9shou.city-asaka.ed.jp>



【学校教育目標】 「心豊かでたくましい人間の育成」

すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

【めざす学校像】 「元氣なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」

## やる気を育てる春休みに！

校長 小林美加

本日、令和7年度の修了式を迎えました。子供達はそれぞれの学年の教育課程を修了し、次の学年に進級します。様々な行事や日々の学習、生活を通して大きく成長した1年間だったと思います。これも**保護者や地域の皆様のおかげと感謝の気持ち**でいっぱいです。

3月23日には校内で6年生との「お別れ式」を行い、放送で1年生から5年生の代表者が気持ちを込めてお別れの言葉を伝えました。その後、6年生が笑顔の在校生に拍手をされ、少し照れながら廊下を通る様子がとても微笑ましく、九小の子供達の仲の良さを改めて感じました。3月24日には、ご来賓、学校運営協議会委員並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、在校生代表の5年生が参列して「第44回卒業証書授与式」を挙行することができました。51名の卒業生は、一人一人自分の夢や目標を語り、卒業証書を手に九小を巣立っていきました。また、在校生代表として式に参列した5年生は、とても立派な態度で、「別れのことば」の呼び掛けの中でも、6年生から最高学年としてのバトンを引き継ぎ、これから自分達が九小を牽引していくのだという決意を力強く表してくれ、とても心強く感じ嬉しく思いました。厳かな中に温かみがあり、感動あふれる式となりました。

さて先日、家の本棚においてあった『**子どものやる気 (ドン・ディンクマイヤー、ルドルフ・ドレイカース著・柳平 彬 訳)**』という本を読み返してみました。この本は、子供をコントロールするのではなく、子供が自分で動きたくなる環境をつくるというアドラー心理学の実践書といわれています。私がカウンセリングを学ぶ際に参考にした本の中の一冊です。子供達は、誰かに褒められるから頑張るのではなく、「自分は役に立っている」「自分にはできる力がある」と感じられたときに、最も意欲的に学び、行動するといわれ、アドラー心理学では、これを**“勇気づけ”**と呼んでいるそうです。結果ではなく、努力や過程に目を向けて声をかけることで、子供は自分の力を信じることができると思います。

学校生活の中で、子供達は成功だけではなく、失敗やつまずきも経験します。しかし、その一つひとつが「学び」であり、「成長の種」です。大人が先回りして道を整えるのではなく、子供自身が選び、考え、試し、また立ち上がる。その過程を尊重することが、やる気を育てる何よりの土台になると感じました。また、家庭でできる**“やる気を育てる環境づくり”**の中には、子供に選択肢を与える（自分で決める経験が自信になる）、家庭のルールを一緒に決める（協力の感覚が育つ）、親が完璧を求めすぎないとありました。

明日から春休みになりますが、保護者の皆様も子供達と一緒に1年間を振り返るとともに**“勇気づけ”**と**“やる気を育てる環境づくり”**をお願いしたいと思います。事故や怪我、体調に気を付けて、楽しい春休みをお過ごしください。この1年間、本校の教育活動に、いつもあたたかいご理解とご支援をいただき、本当にありがとうございました。

